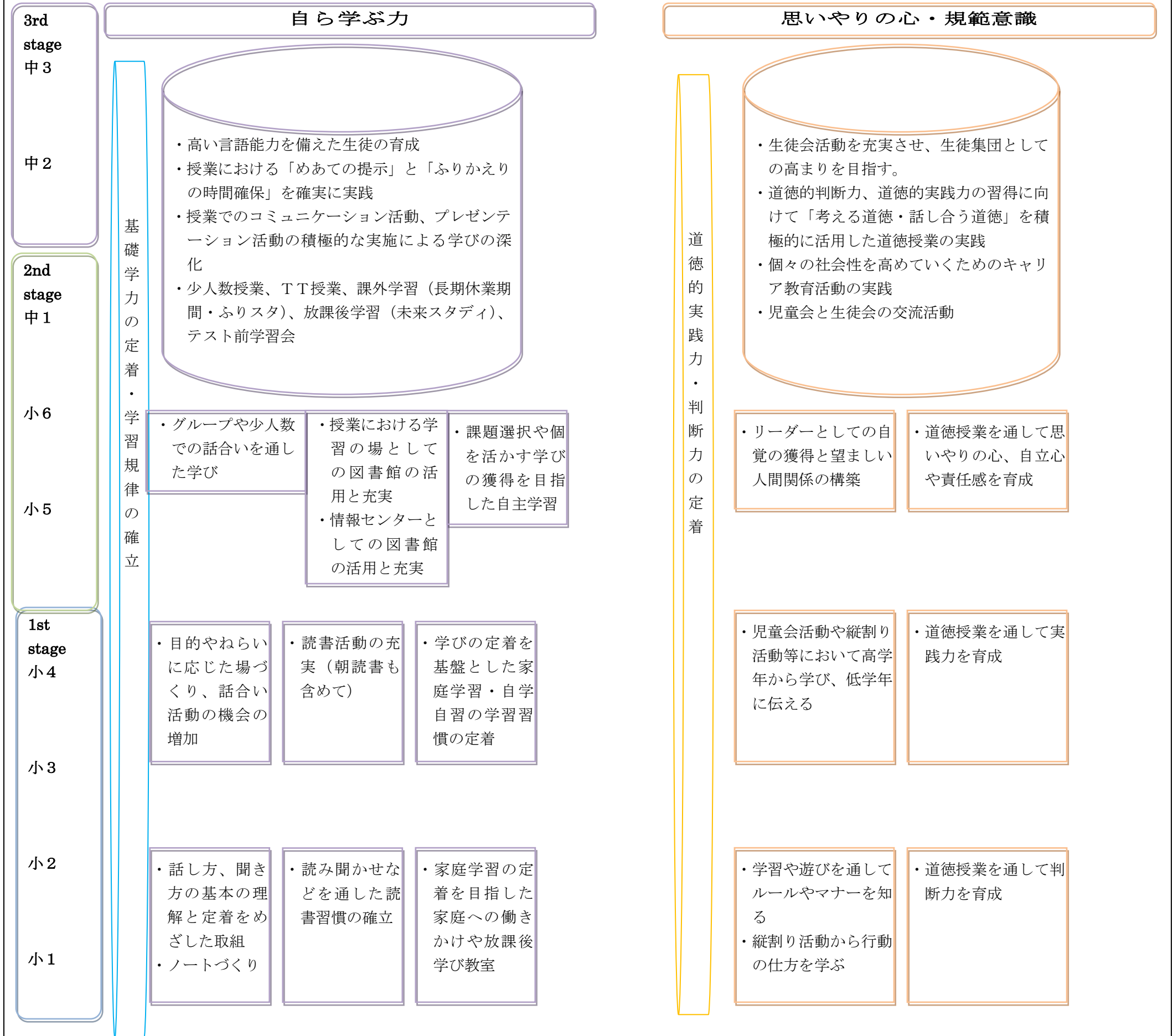


桂 中学校 ブロックの 小中一貫教育

小中一貫教育構想図

令和8年度

〔目指す子ども像〕 思いやりの心を持ち、人や自然を大切に出来る児童・生徒
 将来の目標に向かって、自ら学び努力し続ける児童・生徒
 どんなことにもくじけず、粘り強く挑戦する児童・生徒
 大きな声で挨拶や返事が出来る児童・生徒
 自分の思いや考えをしっかりと伝えることが出来る児童・生徒
 周囲の人や自ら体験したことから、何かを学ぼうとする児童・生徒



学校教育目標（中学校・小学校）

桂中：『言語能力の育成・言語活動の充実』～人とことばを大切に～
 『「温かな心」「たくましさ」を兼ね備えた生徒の育成』

桂小：『心豊かに 主体的に行動できる子』

桂徳小：

「やりたいことを見つけ、夢中になって取り組む」
 ～わくわく ドキドキ みんなが行きたい桂徳小～

桂川小：

『自ら課題を見つけ、人とかかわりながら
 豊かな心とことばで 達成する子』の育成

軸となる取組・活動

義務教育終了時につけたい力①：自ら学ぶ力

- ・基礎学力の定着をめざして粘り強く学ぼうとする力
- ・学習規律の定着を基盤として深い学びに対して積極的に向かう力

学年又は学年区分ごとにめざす姿

<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心をもって学習に取り組む ・学習におけるルールを守ろうとする姿勢が身につく 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で意見交流しながら学習をすすめていける ・学習規律を守ろうとする態度が定着している 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な活動を通してコミュニケーション力を発揮しながら学習を深めていける ・学習規律の定着を元に積極的な姿勢で学習できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の夢の実現（進路展望）に向かって粘り強く学んでいく
--	--	--	--

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
----	----	----	----	----	----	----	----	----

取組・活動

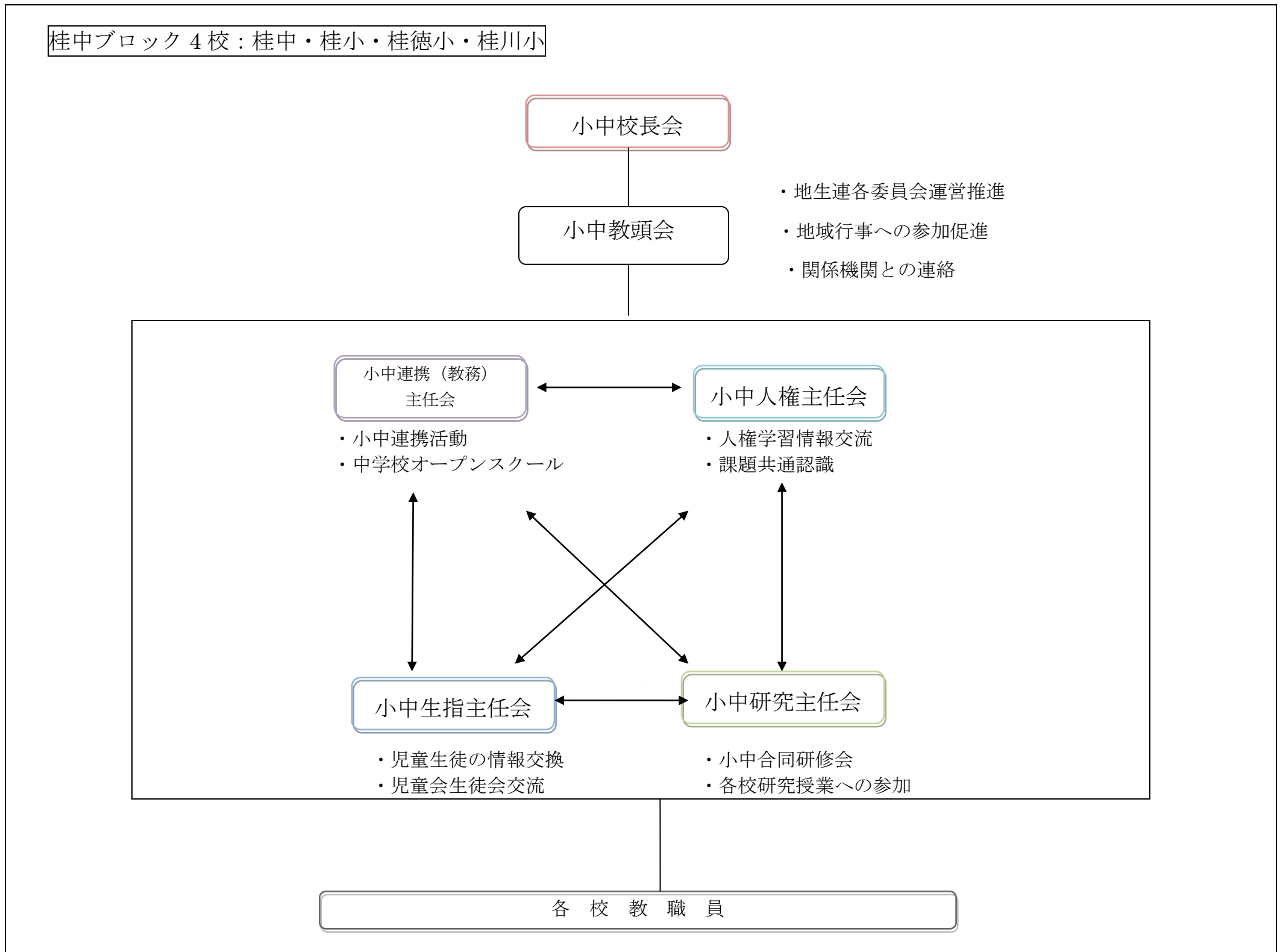
学習課題の実施と定着（平日及び週末の家庭学習課題）

<p><桂小学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合う力を育成させるために「相手に分かるように話す力」「大事なことを落とさないで聞く力」の育成を図る。 ・「マイプラン」を用いて、家庭学習と学習準備を徹底する。（定着・習慣化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもち、「話し合いたい」「伝えたい」「意見を聞きたい」と、児童が思う場面を意図的に作り出す。 ・「マイプラン」を用いて、1週間の目標を立てて、ふりかえりをする。学習予定表を基に自主学習の計画を立てる。（計画力の向上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にし、自らの学習を調整しながら活動の設定を行う。 ・「マイプラン」を用いて、学習予定や帰宅後の予定を把握して、日々の予定を計画する。（自己調整力の育成） 	<p><桂中学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の徹底を図り、学習に対する積極的な態度の育成（1年） ・英語・数学におけるT・T授業（1年） ・言語活動の充実を図り、対話的・主体的・深い学びを意識したコミュニケーション活動を取り入れた授業の展開（全学年） ・テスト前学習会の実施 ・長期休業における補充学習会、自主学習会の実施（全学年） ・未来スタディを活用（全学年）
<p><桂徳小学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールや、それに向かう学習の計画を立てる経験をし、見通しをもって学習する楽しさを味わえるようにする。 ・（一律に行う学習活動からスタートし）学習の方法を選ぶ経験をする中で、自分の進捗や理解に合わせる経験を積めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを見据え、計画を立てる経験を通して、付けたい力、必要な活動を考えることができるようにする。 ・自分の理解・進捗に合わせた学習方法を選ぶ経験を積むことで、自分の学びのために学習方法を考えられるようにする。 ・自分で進捗や内容を振り返り、先生や友達と一緒に調整する経験を積むことで、選択・実践・振り返りのサイクルで学習が進むことを実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを見据えた計画を自分たちで立てることを通して、これまでの学習とのつながりを考え、見通しをもって学習できるようにする。 ・選択の理由を考えることで、自分の理解・進捗に合わせた学習方法、家庭学習の方法を選ぶことができる。 ・学習集団の中で、進捗や理解を振り返ったり、刺激を得たりすることを通して、自分で進捗や内容を振り返り、調整しながら学習をやり切ることができるようにする。 	
<p><桂川小学校の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律を徹底する。 ・話型を通して「話す・聞く」力が定着する。 ・目当ての大切さに気付き進んで取り組む。 ・わかる喜びを知る。 ・おもしろいや考えをもつ。 ・自主学習の取組を通して目的をもって学ぶ大切さに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びを創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く」力が定着する。 ・目的意識をもち、見通しをもち学びに向かう。 ・わかる喜びを知り、学ぶ意欲を高める。 ・自分のおもしろいを伝える。 ・自主学習の取組を通して学びの作り方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びを創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く」力が定着し、協働的に学ぶ。 ・目的意識をもち、見通しをもち、解決する。 ・わかる喜びを知り、自ら学ぶ。 ・自分のおもしろいを適切なことばで伝える。 ・自己の学びを振り返り、目的をもって自己の学びを調整する大切さに気付く。 ・個別最適な学びを創造する。 	

- <中学校ブロックとしての取組>
- ・家庭学習課題の適切かつ着実な実施

義務教育終了時につけたい力②：思いやりの心・規範意識 ・互いを認め合い、やさしい気持ちで接することができる力 ・正しい判断のもとに主体的に行動できる力									
学年又は学年区分ごとに目指す姿 ・友だちと仲よくし、助け合える ・ルールやマナーを知り、正しい判断が必要なことを理解できる		・思いやりの気持ちで仲間と接し、相手のことを理解できる ・集団や社会のルールが守れる		・集団の一員としての自覚を高め、自己の役割や責任が果たせる		・社会の一員としての自覚を高め、自己の夢の実現に向けた態度と実践力が身につけている			
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
取組・活動 <div style="text-align: center;"> 道徳授業の積極的な実践と交流・研究 </div>									
<桂小学校の取組> ・生活や学習の中できまりや学習規律の理解を図る ・道徳教育、「ともだちの日」など人権学習の充実により、命を大切にす心や他人を思いやる心の育成を図る。 ・異学年での関わり方を学ぶ。		・学級活動等でルールを守り仲間と協力する態度を養う。 ・道徳教育、「ともだちの日」など人権学習の充実により、自己肯定感、自己有用感の育成を図る。(生徒指導の実践上の4つの視点) ・異学年で互いのよさやがんばりを認め合う		・自分を大切にし、主体的に学びの機会に参加し、意欲的に交流する。 ・道徳教育、「ともだちの日」など人権学習の充実を図り、自他ともに大切にし、仲間とともに協力する。(生徒指導の実践上の4つの視点) ・児童会活動において自己の役割を自覚し、互いを認め合い、励まし合う集団づくりを行う。		<桂中学校の取組> ・「考える道徳・話し合う道徳」を積極的に活用した道徳授業の実践 ・育成学級生徒について正しい知識と認識が持てることを目指した学習の実践 ・個々の社会性を高め、社会の一員であることの自覚を高めていくためのキャリア教育活動の実践 ・小中一貫を意識した交流活動の継続的な実践 ・総合的な学習の時間について、「仲間づくり」、「探求活動」、「生き方・進路」を軸にして取り組みを進める。			
<桂徳小学校の取組> ・学習や遊びを通して、ルールやマナーを知り、友だちと仲良く活動できる場を設定する。 ・生徒指導の実践上の4つの視点を意識したチーム学校を構築する。(あいさつを返す。→自己存在感の感受) ・学校のきまりの理由について理解し、守る。(自己決定の場の提供と安全・安心な風土の醸成)		・学級活動・児童会活動やクラブ活動等の活動を通して集団生活の約束を理解し、思いやりをもって友だちと活動できるよう働きかける。 ・体験学習の振り返りを行う。 ・生徒指導の実践上の4つの視点を意識したチーム学校を構築する。(あいさつを自分から。→自己存在感の感受) ・学校のきまりの理由について理解し、行動する。きまりにのっていないきまりについて考える。例えば、あいさつや廊下の使い方等。(自己決定の場の提供と安全・安心な風土の醸成)		・児童会活動やクラブ活動等学校のリーダーとして自覚が持てるように働きかけると共に、自己の力にあつた役割や責任をもたせる。 ・体験学習の振り返りを行う。 ・生徒指導の実践上の4つの視点を意識したチーム学校を構築する。(あいさつ「名前+あいさつ」。→自己存在感の感受) ・学校のきまりの理由について理解し、行動し、他学年へ広めていく。きまりにのっていないきまりについて考える。例えば、あいさつや廊下の使い方等。(自己決定の場の提供と安全・安心な風土の醸成)					
<桂川小学校の取組> ・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導実践上の4つの視点を意識した「自己指導能力」の基礎を養う。 ・あいさつの大切さに気付く。 ・ルールとマナーについて考え、その大切さに気づく。 ・誰とでも仲良くする心情を育てる。 ・係活動や当番活動を通して、助け合いの心、感謝の心を育てる		・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導実践上の4つの視点を意識した「自己指導能力」の育成を目指す。 ・あいさつの大切さを理解する。 ・ルールとマナーについて考え、その大切さを理解する。 ・相手のことを思いやる心情を育てる。 ・体験活動を通して高齢者や障がいのある人々への理解を深める		・学校生活のあらゆる場面や機会を通して、生徒指導実践上の4つの視点を意識した「自己指導能力」の育成を目指す、行動につなげる。 ・あいさつの大切さを理解して行動する。 ・ルールとマナーについて考え、その大切さを理解して行動する。 ・リーダーとしての自覚や責任感を育てる ・体験活動を通して、自己の役割を自覚し、望ましい人間関係を築く					
<中学校ブロックとしての取組> ・道徳授業の積極的な実践…相互の授業参観、資料の活用方法の協議、道徳授業の評価活動の研究 ・小中学校合同活動…オープンスクール ・自学自習の習慣化への指導・支援【学習内容時間の計画と自己評価】：各小3年生以上～中学校の定期テスト準備→高校入試→生涯学習									
学びの約束・ルール									
項目	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
あいさつ	・元気よくあいさつができる子		・自らあいさつができる子		・相手を尊重し、場に応じたあいさつができる子				
言葉づかい	・しっかり大きな声で、ていねいに話すことができる。		・きつい、きたない言葉を使わず話すことができる。		・時や場所に応じた言葉を使い分けることができる。		・相手の状況や気持ちを感じながら適切な言葉づかいができる		
コミュニケーション	・楽しく表現することを通して「話す」力を育てる		・豊かな話し合い活動を通して「聞く」力を育てる		・表現を学びや思考につなげ深めるため「書く」力を育てる		・話し合いの目的や方向性を理解しながら、理由付けも含め、自らの意見を「述べる」力を育てる。		

小中一貫教育推進体制



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- ・地生連および少年補導行事への参加の促進…ふれあいステージ（地生連）など
- ・学校だより、学年通信、地生連だよりの発行を通じた情報発信及び学校HPへの掲載。